

アデランス

アデランス CSR

<http://www.aderans.com/csr/>

笑顔のために

これまでも、そしてこれからも続けていく
アデランスの取り組み

アデランス

笑顔あふれる心豊かな社会へ

私たちは多くの人々に夢と感動を提供したい、笑顔と心豊かな暮らしに貢献したいとの思いから、毛髪に関連するさまざまな取り組みを行ってきました。そこでこれらの取り組みをまとめた本冊子を作成することでもっと多くの人にアデランスの活動を知っていただき、また皆様からご意見をいただくことで、私たちは真の意味で、企業の社会的責任(CSR)を果たしていきたいと考えております。今後も引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社アデランス
代表取締役会長兼社長

根本信男



INDEX

- **社会・地域貢献** 2-3
 - 愛のチャリティーキャンペーン
 - ピンクリボン運動
 - 毛髪再生への取り組み
 - 「スカルプケア・サイエンス」の共同研究
- **お客様の安心・安全** 4
 - 病院内理美容室のバリアフリー
& 移動式美容イスの導入
 - 外部講師による医療講習の実施
- **環境への取り組み** 5
 - お客様と育てる「フォンテーヌ緑の森」
 - 節水用シャワーヘッドの導入
- **学術・文化貢献** 6
 - スタジオADの実績
 - 毛髪関連学会への協賛とセミナーの提供

■ 社会・地域貢献

子どもたちの笑顔のために。 30年以上取り組む ウィッグのプレゼント。



愛のチャリティーキャンペーン

当社では、「お子さまの髪の毛の悩みを心の傷にしないために」をテーマに、「愛のチャリティーキャンペーン」を、1978年から継続して実施しています。病気やケガなどの理由で髪を失った4歳から15歳のお子さまに、オーダーメイドウィッグをプレゼントし、多くの笑顔を取り戻していただきたいと願っています。お子さまやご家族の方からの感謝のお言葉が、当社の励みとなっております。

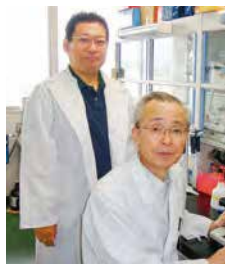


このマークはピンクリボンフェスティバル(日本対がん協会など主催)のマークです。

ピンクリボン運動

乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えるピンクリボン運動を応援しています。毎年10月はピンクリボン月間であり、当社においても、日本対がん協会などが主催する「ピンクリボンフェスティバル」に協賛し、スマイルウオークなどのイベントにも参加することで、ピンクリボンメッセージを広く伝えていきたいと考えます。

毛髪再生のために、最先端の研究を、進めています。



毛髪再生への取り組み

2006年4月、大阪大学大学院医学系研究科に「皮膚・毛髪再生医学(アデランス)寄附講座」を開設しました。薄毛で悩む人々への新たな解決策の提供を目指し、日本における毛髪研究の第一人者である板見智教授を中心に研究を進めています。板見教授の研究成果のひとつとして、2010年には、皮膚科医が正しい治療を行うための*ガイドラインの策定(日本初)に深く関わるなど、さまざまな活動を展開しています。

*「男性型脱毛症診療ガイドライン」および「円形脱毛症診療ガイドライン」



スカルプケアサイエンスの共同研究

当社では、東京大学大学院医学系研究科 老年看護学/創傷看護学分野の真田弘美教授と、頭髪に関する新たな科学分野であるスカルプケアサイエンスの共同研究を開始しました。日本における創傷看護学分野の第一人者である真田教授が、創傷看護に関わる研究に、同じ皮膚である頭皮に注目し、毛髪にも有効に作用するのではないかと考えたことから、研究はスタートしました。真田教授と当社メディカルアドバイザーである倉田医師を中心に、共同研究に取り組んでいます。

病院内だからこそ、バリアフリーにこだわりました。



病院内理美容室のバリアフリー & 移動式美容イスの導入

当社では、2002年9月から病院内に美容室を展開し、病気や治療によるデリケートな髪の悩みを抱える患者さまに、さまざまなサポートを行っています。店舗は患者さまが車イスでもご来店いただけるよう、バリアフリー化を実現しました。また、移動式美容イスを全店に導入し、患者さまの体調に配慮し、病室内のどこへでも出張できる体制を整えています。



外部講師による医療講習の実施

2005年に開発した医療向けウィッグの発売を機に、外部講師による医療講習(メディケア講習)の受講を、患者さまと接するスタッフ全員に義務付けました。これは、各疾病や脱毛の原因などに正しい知識を持つとともに、患者さまへの十分な心遣いをもって接することが重要と考えたからです。すでに1300名以上のスタッフが受講しています。

不要となった ウィッグの回収と、 植林を結ぶエコサイクル。



お客様と育てる「フォンテーヌ緑の森」

女性向けウィッグを取り扱う「フォンテーヌ」では、ウィッグの下取り時に発行したクーポン券を使ってウィッグを購入いただいた際に、売上の一部を植林活動に寄付する「フォンテーヌ 緑の森キャンペーン」を実施しています。2009年からスタートしたこの取り組みで、不要となったウィッグを家庭ごみにしないように回収するとともに、国内の山間部に新たに430本以上の植林がすでに行われています。



節水用シャワーヘッドの導入

当社では、理美容技術を提供する営業店に節水用シャワーヘッドを導入し、水道水の50%程度の節水と温水化するために発生するCO₂の削減に効果を発揮しています。このシャワーヘッドは、単に節水だけでなく、カートリッジにビタミンCを入れることで塩素を除去し、お客様の頭皮に、そして従業員の手にも優しいものとなっています。CSRを進める中で、顧客満足(CS)と社員満足(ES)を同時に実現しています。



ウィッグの素晴らしさと、 毛髪研究の意義を 世の中に広めています。



*スタジオADの実績

1983年に劇団四季によって、ミュージカル「キャッツ」が初演されました。キャッツの激しいダンスの動きに耐えるウィッグは、当時劇団四季のヘアメイク、衣装デザイン担当者と当社スタッフが協力して開発したものです。当社独自の芸能用ウィッグは、その後、「オペラ座の怪人」、「美女と野獣」といった日本を代表する舞台芸術の実現に貢献しており、その他さまざまな映画やテレビ、コンサートなどにおいて使用されています。
*スタジオADはアデランスの文化芸能部門で、ウィッグとヘアメイクのエキスパート集団



毛髪関連学会への協賛とセミナーの提供

当社は、2011年2月に開催された「日本臨床皮膚外科学会、日本臨床毛髪学会合同学術集会」に協賛し、当社研究機関である米国子会社「アデランス・リサーチ・インスティテュート社」のワシニック博士と大阪大学毛髪再生医学寄附講座の乾准教授による「毛髪再生セミナー」を実施しました。また、日本皮膚科学会、日本毛髪科学研究会、世界毛髪研究学会等に対し、毛髪に関する学術研究会議の開催へのセミナーの提供やスポンサーといった協賛活動を行っています。